

## ♥ 節分の会 2月3日(火) ♥

まだ少し寒い日が続いていますが、暦の上ではもう春ですね。

わくわく館では、2月3日の火曜日に『節分の会』を開き、35組77名の親子が参加をしてくれました。

歌を唄ってパネルシアターを楽しんだあと、ダンボールで作ったオニをボールでやっつける、『鬼たいじ』をがんばりました。

みんなでボールをぶつけて見事オニを退治したあとは、館長によく似た福の神さまが来てくれました。

福の神が引いて来たのは、かごいっぱいのお菓子の山！福の神が「福は～うち～！」とお菓子を撒いて、『福拾い』の始まりです。

自分で作った福拾い用の紙袋を、お菓子でいっぱいにすることができましたか？



## ♠ ひな人形作りを楽しんでいます ♠

ヤクルト空き容器を利用して、オリジナルおひなさまを作っています。

今回はかなり細かい作業が多くてお母さんのお楽しみという形となりました。お母さんたちは、作り方を教え合ったりお互いのお子さんを見合ったりしながら、楽しんで作っています。着物の柄から帯の柄、扇の形まで、細かく凝りに凝って集中して作るお母さんもいれば、お子さんにすべて選ばせた材料で作るお母さんもいて、色とりどりで個性あふれる、かわいいおひなさまが次々たくさんできあがってきました。出来上がったおひなさまは、3月3日のひなまつりの会まで、わくわく館の特設ひな壇に飾ってあります。

## 子育て講座 『絵本について』 2月24日(火)

札幌第一こどものとも社の藤田春義さんをお呼びしての「絵本について」の子育て講座に、18組の親子が参加しました。

藤田さんは絵本を一冊ずつお母さんたちに読み聞かせながら、たくさんのお本を紹介してくれました。「絵本は子どもの気持ちを開放するもので、『あーたのしい』『あーいい気持ち』と感ずることが大事で、何か(言葉や知識)を教えることを目的にしてはいけません。」「絵本が嫌いな子はいない。お母さんが『この子は絵本が嫌い』と思ったら嫌いに、『好きだ』と思ったら好きな子になる。」「今という時、子どもとの毎日という時間を大事にしてほしい。」「今、子どもたちがしてもらっていること(本を読んでもらう、遊んでもらう)を次の世代の人たちにしてあげることができる人になってほしい。絵本を読んで子どもの気持ちがわかる大人になってほしい。」と、温かな暖かい口調でゆっくりとお話をしてくれました。

お母さんたちがお話を聞いている間、12人の子どもがスタッフと遊びながらわくわく館で待っていました。1才から3才の子が誰も泣かずにいました(お母さんと一緒に聞いている人もいましたが)いつもの場所なので、安心して過ごしました。

11:30からは、親子で大型絵本の読み聞かせをしてもらいました。



## 3月の子育て講座 『春のおにぎりパーティー』

・期 日 平成21年3月17日(火)  
・時 間 午前10時00分～  
・会 場 わくわく館

・内 容 いろいろな具材でおにぎりを作ろう!  
3月10日(火)までに申込みが必要です。  
2歳以上の親子 15組